

# 令和4年度 こども発達支援センターのぞみ園 サービス自己評価・点検結果

令和5年2月 実施

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	取り組み状況
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	✓			法令を遵守したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であるか。	✓			法令で必要とされる職員を配置しています。
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	✓			施設はバリアフリー化されています。また、日本語を母語としないご利用者様に配慮した情報提供にも努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	✓			毎日施設内の清掃を行っています。また、ご利用の都度、居室や教材等の消毒を行い、感染症対策に努めています。
業務改善	5 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	✓			全職員で話し合いながら、業務の改善に努めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	✓			年2回のアンケートと個別面談を実施し、ご意見をお聞きしながら、業務改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	✓			平成29年度より国のガイドラインにもとづいたサービス評価を実施しています。結果は施設内への掲示及びホームページにて公表しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか。			✓	現在のところ第三者による外部評価は実施しておりません。
適切な支援の提供	9 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	✓			ウェブ研修や内部研修を通して、職員の資質向上を図っています。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	✓			発達検査・知能検査等の標準化されたアセスメントツールを活用して、お子さんのニーズ把握を行い、支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	✓			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	✓			国のガイドラインに基づいて、個別支援計画を作成しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	✓			個別支援計画を全職員で共有し、支援にあたっています。
14 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	✓			職員間で話し合いながら、日々のプログラムや年間の活動を計画しています。コロナ禍での制限はある中で、感染対策や実施方法を工夫しながら活動の充実に努めてきました。引	
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	✓				

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	✓			引き続き感染対策等に努めながら、さらなる充実を図っていきます。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	✓			毎日の小集団指導の前後で職員ミーティングを実施し、支援方法の確認や振り返りを行っています。また、全職員で情報共有を図るため、申し送りの時間を毎日設けています。記録も、指導の都度作成し、全職員で共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	✓				
	19	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	✓				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	✓				半年に1回程度、モニタリングを実施しています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	✓			行政機関や幼稚園・保育園・学校等との連携を図っています。複数の児童発達支援事業所を併用する方が増えていることから、障害者相談支援事業所との連携も密に行っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	✓				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	✓			医療的ケアや重症心身障害のお子さんについては、特に保健センターをはじめ、病院、障害者相談支援事業所等、関係機関との連携に努めています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。		✓			
		25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	✓			必要に応じて保育所・幼稚園等への訪問を行い、情報共有や連携を図っています。就園・就学に際しては、文書等により情報提供を行っています。また、保護者様がお子さんのサポートブックを作成する際のご相談にも応じます。
		26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	✓			
		27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	✓			県内および市内の障害児通所支援事業所の連絡協議会に参加し、情報交換や研鑽に努めています。
		28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	✓			コロナ禍での制約はありますが、同法人の運営する保育園での交流企画を毎月実施しています。
		29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	✓			行政からの要請に応じて、保健福祉、教育関係の会議等に職員が参加しています。
		30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	✓			親子通園の事業なので、日々の小集団指導や個別指導の中で共通理解に努めています。
		31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	✓			保護者様向けの勉強会を実施し、ご希望に応じて動画配信も行っています。今後も保護者様のご希望をお聞きしながら、さらなる充実を図っていきたいと思います。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	✓		利用手続きの際に、重要事項説明書により利用方法等について説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	✓		ガイドラインに基づいて個別支援計画を作成しています。その内容について、保護者様に説明し、同意の上、署名捺印をいただいています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	✓		保護者様からのご希望に応じ、個別相談の時間を設けて対応しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	✓		保護者様同士の交流や情報交換の場として「おしゃべり会」等を開催しています。コロナ禍での制約がありましたが、今後はさらなる充実を図ってまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか。	✓		苦情受付体制を整備しているほか、保護者様からご意見やご要望があった際には、迅速な対応に努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	✓		指導予定表や行事案内等を毎月配布しています。また、かっぱメールでも情報を発信しています。
	38	個人情報の取り扱いに十分に注意しているか。	✓		当法人の個人情報保護規程に則って、適切に管理しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	✓		障害や使用言語等、利用者様個々の状況に配慮しながら、意思疎通や情報伝達に努めています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		✓	季節の行事で地域の主任児童委員さん等のご協力をいただいています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		✓	各種マニュアルを策定し、避難訓練や対応方法の研修を実施しています。今後さまざまな状況を想定して対応強化に努めるとともに、保護者様への周知にも努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行っているか。		✓	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	✓		利用契約時に、児童票の中に服薬等の状況をご記入いただき、確認しています。
	44	食物アレルギーの子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		✓	保護者様のお申し出にもとづき、保護者様に確認を取りながら対応しています。必要な場合は医師の指示書での確認も検討します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	✓		ヒヤリハットの記録を作成し、職員間で共有に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	✓		年1回、虐待防止に関する職員研修を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか。	✓		身体拘束の必要な場合は、職員間で十分な検討を行い、保護者様の了解を得た上で行います。